

95 鳥取県高P連会報

Contents

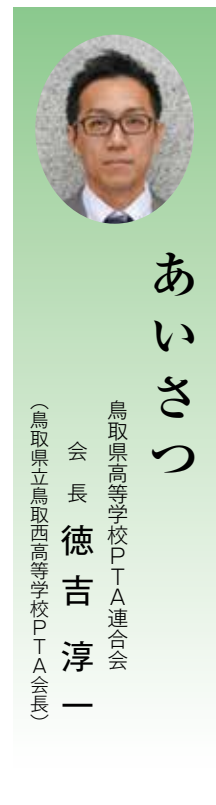
□高P連会長挨拶	1	□第71回全国高P連大会石川大会報告	
□特集 高等学校における「コミュニティ・スクール」の取組	2~3	第64回中国・四国地区高P連愛媛大会報告 ..	6~7
□PTA活動紹介		□PTA会長研修会報告・全国高P連会長表彰	7
鳥取工業高校・境港総合技術高校	4	令和4年度・令和5年度各種大会等の予定	8
□令和4年度総会報告・県高P連表彰		□高校生総合保障制度案内	8
県立高校PTA会長・校長名簿	5		

今年度、鳥取県高等学校PTA連合会の会長を務めさせていただきます。鳥取県立鳥取高等学校PTA会長の徳吉淳一でございます。

保護者の皆様におかれましては、平素より、各高等学校PTA活動へのご理解、ご協力を賜り、また当連合会の活動にもご尽力いただいておりますこと、誠にありがとうございます。

今年度の3年生以降の子も達は、新型コロナウイルス感染症拡大の真ただ中、中学校の卒業式もまともに行えない状況で入学しました。そして、運動会、文化祭、修学旅行などの行事は中止・縮小され、様々な場面で制限をかけるを得ない形で学校生活を送らなければならず、思い描いていた高校生活とかけ離れたものとなってしまいました。しかし、このような状況の中において、生徒自身ができることを自分たちで考え、提案し活動してきた学校もあり、子ども達たちのたくましさを実感しています。

また、各校長先生をはじめ、先生方におかれましては、



あいさつ

鳥取県高等学校PTA連合会
会長 徳吉 淳一
(鳥取県立鳥取高等学校PTA会長)

ルールモデルのない学校運営を強いられ、そのような中でも子ども達の安全を第一に、時には身を犠牲にしてご尽力いただきましたこと、本当に感謝しております。多くの生徒が、先生方の励ましに救われてきたことは、当連合会の活動を通じてよく耳にします。

さて、当連合会も各高等学校の精力的な活動に負けないよう、対面とオンラインをうまく組み合わせながら活動をしているところでございます。昨年は総会、会長研修会、指導者研究大会等を対面で行いました。今年度も7月3日に会長研修会を対面で行いました。高等学校課の方々のフリートークや各校の現状や問題点の共有など、とても有意義な会でした。私は、オンラインよりも対面の方が、その場の空気感により思いが伝わりやすく優れている点があると思っております。これからもできる限りは対面で事業を行っていきたいと思います。

県内の活動だけではなく、今年度は県外の活動も対面で開催されています。令和4年7月26日(火)には愛媛県松山市にて第64回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会が対面で開催されました。基調講演では、株式会社今治、夢スポーツ代表取締役岡田武史氏にご講演いただきました。これから求められる人材は主體的に考えて行動できる自立した人であること、皆が一緒でなく皆が違う、多様である、違いを認め受け入れ、力を合わせていくことが大切であるということ、自身の取り組みと共にお話しいただきました。熱いメッセージに心打たれました。その後、愛媛県内の高校生による発表、中四国の様々な高等学校の取り組みが発表されました。どの学校も、コロナ禍の中、学校独自の活動を継続していくための苦勞、努力がにじみ出た内容の発表でした。共通点としては、コロナ禍に負けないという生徒達自身の思いと実行力、それを理解し支えてくださる先生方、保護者の方々がいることです。

学校独自の取り組みは、学校だけが中心となつて行うのではなく、生徒達が積極的に提案し関わっていくように変化しているのではないかと感じました。高P連の活動も時代の流れと共に変化していかなくてはなりません。役員一同、盛り立てて参りますので、一年間どうぞよろしくお願いたします。

【発行】

鳥取県高等学校PTA連合会 〒680-0846 鳥取市扇町21 (県民ふれあい会館内)
TEL/0857-27-0730 FAX/0857-27-0739 E-mail/tori-kop@gamma.ocn.ne.jp
バックナンバーはホームページでご覧いただけます。https://tottori-koupren.com/



特集

コミュニティ・スクールの取組

岩美高等学校



「コミュニティ・スクールの力」

『「なりたい自分」を探し、描き、創る場所、それが岩美高校』を目標として

校長 辻中 孝彦



学校運営協議会風景

「イラストレーターになりたい」という夢を持ち岩美高校に入学してきた生徒Aさんがいました。この夢を実現するために…学校側としてはいろいろと悩むところでした。でも、岩美高校には心強い応援団がいます。学校運営協議会（コミュニティ・スクール）です。岩美町観光協会もその一員。今年1月、同会が岩美町観光PRポスターの共同作成を提案くださいました。果たして、本校生徒3名の案

が採用となりました。3か月後、生徒それぞれの個性を活かした作品が完成し、県内外の様々なところに掲示されることになりました。同時に、生徒Aさんの夢への強い思いが自主的な地域貢献として具現化しました。



岩美町観光 PR ポスター作成

このように、生徒の「夢」実現、「なりたい自分」探しのため、岩美高校では、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の機能をフル活用して、地域学校協働本部（令和4年度、3回開催）にて熟議を重ね、その結果を地域学校協働活動として具体的な取組に結びつけています。令和4年度現在、地域学校協働活動で実施している活動は次の3つの柱からなっています。

- 1 「地域人材が支援し、教える」
探究活動

地域探究型学習
「イワツツミツション」



公営塾 (Hope)



公営塾 (Hello)

- 2 学力向上、進路実現のための取組
岩美町主催 岩美高生対象 公営塾

- ① HOPE（国公立大学進学対応学習会）

- ② HELLO（英会話・オンライン交流・英検対策）

- 3 通学への環境整備
J・R通学費補助（新入生対象）

県外、県内中西部からの入学者への宿舍整備等

さらに、もつと多くの生徒の「夢」を実現できるよう、PTAと地域の



岩美高版コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進イメージ

皆様の思いを寄せ、今年度、地域学校協働本部で次のような協議を予定しています。

- 1 地域探究型学習 「イワツツミツション」の質的向上

- 2 令和5年度からの年次学級減に伴う空き教室の活用

- 空き教室の地域コミュニティ活動拠点・拠点化（案…地元企業ブース、岩美高カフェなど）

- 3 探究学習に適した教室の整備

- 4 生徒の主體的な地域貢献活動の「場」の創出

- 4 地域の協力を得た部活動の振興

倉吉総合産業高等学校

校長 徳田 章人

本校のコミュニティ・スクールは、本校長及びPTA会長、中学校長、自治体勤務者、公民館の役員をはじめ、地域経済や地域社会福祉、地域活動の活性化について、それぞれ深く関わっておられる計8名の方で構成されています。2年前の発足時は年2回、6月と2月に会を開催していましたが、現在は2学期10月にも会を催し、年3回の開催としています。学校の状況を説明しながら、学校運営に関する提言助言をいただき、今日的に学校が抱えている問題につい

でも意見を交わしています。

コロナ禍で年度当初予定していたように、何度も学校においていただき、学校行事や生き生きとした生徒の様子を見ていただくことは叶いませんが、会の後に、校舎を回っていただいたり、委員の方から生徒にとつて有用な情報をいただき、生徒に伝えたりと接点を持つように心がけています。

実際の会では、構成員の方から、それぞれの造詣の深い分野を始め、様々な御意見をいただいています。特筆すべきは、どなたも倉吉総合産業高校の生徒にあたたかい眼差しを向けていただいている、本校の一員として御意見をいただいている点です。

今年度開催した第1回のコミュニケーション・スクールでの発言を紹介します。

本校の野球部の生徒がいつも地域を通り過ぎる際に大きな声で挨拶するという状況を受けて、「このような生徒が学校全体を引っ張ってほしい。地域も応援しているし、今後も地域との関わりの中で、できることをしていくつもりでいる。」また、専門高校である本校の生徒の相当数が、県外に出て就職していることについても「結果的に地域を離れる生徒がいてもそれはそれ。高校時代に地域と関わることはとても意味あること。そのことで地域を思う気持ちが生まれることは大切なことだ。」などの意見も貴重であたたかいもの

ばかりです。

コロナ禍で容易に県外に出かけることができなくなり、今までにも増して地域との関わりが大切になりました。実際に生徒達も地域に目を向ける機会が増えたと思います。地域の発展に学校が大きく関与している中で、私たち教職員も学校が地域コミュニケーションの拠点であると強く意識する必要がありますように思います。その点で地域の方を学校の内部に位置づけ、学校運営に参画してもらう、このコミュニケーション・スクールの存在は極めて大きいと認知しています。10月には今年度第2回目の会が催される予定です。新型コロナウイルス感染症の急拡大が大いに心配ですが、また、その場で委員の皆さんのあたたかく、思いのこもったご発言をいただけることを今から楽しみにしています。



野球部員による雪かき

米子高等学校

校長 山口 明美

本校では、令和元年度より県立高校で初めて学校運営協議会（コミュニケーション・スクール）を導入して活動を行っています。

現在、地域の保育園理事、小・中学校長、公民館長をはじめ、PTA・同窓会、日本政策金融公庫支店長、地域芸術関係者等幅広い分野からの13名の委員で構成しています。学校ビジョンの共有、授業や学習成果発表会の参観等、年間4回の会議を開き多角的な視点からご意見をいただき、特色ある学校づくりの熟議を行っています。

地域連携を推進する本校においては、コミュニケーション・スクールの活動を通して地域の学校として生徒の育成に努め、併せて地域の活性化を図っておりとても重要な活動となっています。



コミュニケーション・スクールの事業として、令和2年度から「はるかのひまわり絆プロジェクト」に取り組んでいます。米子工業高校から

引き継いだひまわりの種を、認定子ども園ベアーズの園児、成実小学校の児童、尚徳中学校の生徒、本校生徒、PTAが協力して種蒔きを行い、プランターに定植して、夏に大輪の花を咲かせることができました。ひまわりの種は、昨年度、日野高校に引き継ぎをしました。阪神淡路大震災を風化させないための取組として、また、人権教育の視点と地域の活性化を目指して取り組んでいるところです。

また、「地域彩り活動」として、米子市文化ホールの花壇植栽、吹奏楽部やダンス部による保育園交流、書道同好会による書道パフォーマンス、UTA同好会による老人保健施設でのミニコンサート、尚徳地区の和みロードの看板制作等に取り組んできました。現在、美術漫画研究部チームが、「優しい街」をテーマに四日市通りの50m壁画を制作しています。今後も、コミュニケーション・スクールの活動を通して、地域連携を深め、地域を愛し他者と協働し地域の未来創造に貢献する人材の育成に努めたいと考えております。



P T A 活動紹介

鳥取工業高等学校

本校は昭和14年に創立。学校のカラは紫紺しごん。校章の頂点に学問・文化のシンボルのペンが描かれ、底辺の両端は鳥取県の鳥と、大いに羽ばたく飛翔・躍動をあらわす自由の翼を意味して、卒業生約18,000名が産業の核として活躍しています。

PTA組織は、会長・副会長・監査・専門部3部からなり、目的達成のために日々活動に取り組んでいます。

鳥工祭への協力を主として、「教育教養部」は広報誌作成など。「環境生活部」はあいさつ運動と学校周辺の花木の剪定と除草など。「人権教育部」は人権に関する講演会開催や映画などの活動を行う



マナーアップ運動

ています。

子どもたちはものづくりなどの学習をしていますが、保護者も「ものづくり」に挑戦しています。毎秋に開催される鳥工



陶芸作品作り

祭展示にむけて、市内の窯で陶器づくりを体験し「ものづくり」を肌で感じてもらうプログラムを行っています。実際に自身の手で作った有形物は愛着が湧き、この想いを子どもたちと共有できるよい機会と捉えていますので、続けていきたい活動のひとつです。

コロナ禍で出来ないことが多くなり、会員との繋がりが薄れていることを危惧しています。コロナ禍でも「会員との繋がり」が出来るよう知恵を出し合い、子どもたちの成長を応援するとともに、教職員のサポートをしていきます。

(文責/会長 藤原慎一)

境港総合技術高等学校

境港総合技術高等学校は、3つの大学科からなる専門高校です。水産学科は海洋科と食品・ビジネス科、工業学科は機械科と電気電子科、福祉学科は福祉科の5科があります。「友愛・創造・自律」の校訓のもと、実用的な技術・技能を身に付け、地元産業で活躍する人材を多く輩出しています。令和5年度は、創立20周年を迎えます。

PTA組織は、会長、副会長、監査、顧問と総務部、研修部、広報部、生徒指導部、人権教育部の5部からなり、各部毎に活動を行っています。

総務部は他4部の企画運営に関わり総括を行っています。

研修部では毎年生徒の就職先となる企業訪問(研修旅行)を企画運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から実施できておりません。PTA中四国大会や全国大会の視聴がオンラインで提供されるので、PTA役員の方に視聴の案内をしています。



PTAのマスク配布

校外パトロールによる生徒指導や生徒

といっしょに実施するマナーアップさわやか運動を行

っていた生徒

指導部、人権

教育公開授業

や懇談会に参

画していた人

権教育部も同

様に、この2年間

は十分な活動が

できていないのが

現状です。

毎年多くの来場者

で賑わっていた

総合技術フェア

でのバザー等、各

部総出で学校行事

に関わっていた諸

活動も中止し、現

在は体育祭で生徒

への飲料提供と、

広報部が年に2回

のPTAだよりを発行

し、学校の様子や

行事など生徒の活

動を中心に保護者

の視点で情報発信

を続けている状況

です。

現在コロナ感染

症第7波の真っ只

中にあり、会員相



体育祭での飲料提供



総合技術フェア

(文責/会長 池原良子)

令和4年度 総会報告

令和4年度の定期総会は、6月11日(土)、ホテルセントパレス倉吉において県内22校のPTA会長・校長が一同に集まり、来賓に足羽英樹教育長、酒井信彦教育委員会事務局参事監兼高等学校課長をお迎えし、開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、会場をホテルとし、時間短縮のため、高P連表彰式は11月開催の指導者研究大会で実施することとしました。

来賓祝辞では、足羽教育長から、「子どもたちに寄り添いながら、任せるべきところは信じて任せることが高校生段階には必要なことだと考える。皆様と情報を共有し、現場の声に耳を傾けながら子どもたちを支えていきたい。一緒に頑張っていきましょう。」とのお言葉がありました。

その後議事に入り、令和3年度の会務報告、会計報告及び令和4年度の事業計画、予算、並びに令和4年度全国高P連会長表彰の推薦について協議を行い原案どおり承認されました。



Table with 2 columns: School Name (e.g., 鳥取東, 鳥取西) and Name of the award recipient (e.g., 清水奈緒美, 中島靖雄).

令和3年度 鳥取県高等学校PTA連合会決算書

Table showing financial data for the 2021 fiscal year (令和3年度), including income and expenses.

Table showing financial data for the 2022 fiscal year (令和4年度), including income and expenses.

令和4年度 鳥取県高等学校PTA連合会役員

Table listing the names and positions of the executive officers (役員) for the 2022 fiscal year.

Table listing the names of the presidents (会長) and school presidents (校長) for each of the 22 member schools.

令和4年度 県立高校PTA会長・校長名簿

第71回全国
高P連大会

石川大会

第71回全国高等学校PTA連合大会「石川大会」が令和4年8月25日(木)、26日(金)の2日間、全国各地から約5000名の参加の中金沢市で開催されました。この石川大会では、「輝く未来への礎」親から始める新時代の教育」というテーマ・サブテーマのもと、3年ぶりとなる

「現地集合型」に、「オンライン型」を加えたハイブリット方式となりました。鳥取県からは現地40名、オンライン12校の参加となりました。

「AI時代、脱炭素時代、withコロナ時代など、様々な意味が含まれた『新時代の教育』とは、まず私たちが親が希望の持てる未来社会へのビジョンを持ち、自らが未来への礎となって主体的に行動し始めることであり、それが教育改革を進める学校を後押しし、地域社会、わが国そして世界の発展につながる」という趣



旨のもと、初日は3会場に渡りアトラクションや分科会が行われました。私の参加した第2分科会では、まず内閣官房内閣参事官・内閣事務次官の浅野大介氏による第I基調講演を拝聴しました。浅野氏は経済産業省で教育産業室を立ち上げられ、文部科学省との協業によってGIGAスクール構想、「未来の教室」プロジェクトを推進されています。デジタルを活用し、世界に関わることで

できる地球規模の人間を育てようという熱意が感じられる中、私たち保護者の役割は子どもの道標となり、いかに探求心を与え続けられるかということ、そこにイノベーションが生れるとの言葉が心に残りました。

第II基調講演では08年学習指導要領改訂の担当をされた、現内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局)審議官の合田哲雄氏による講演でした。PTA活動は教育を創っていくボランティアであり、大人が子どもたちの学びをどう考えるかで教育が変わっていくとの言葉が印象的でした。その後、令和3年度石川県立金沢泉丘高等学校PTA会長の高木慎一郎氏を加えたパネルディスカッションが行われました。

2日目は(株)ファミリーマート顧問・澤田隆司氏の記念講演を拝聴しました。人のために尽くすことが自分に返ってくるという利他主義のもと、一人でも多くの人を物心両面で幸せにしたいという姿勢に心打たれ

るばかりでした。雨の中、手を振って送ってくださった地元の高校生やPTA会員の皆様の熱意や温かみを感じる大会運営に感激、感謝した両日となりました。

(文責)高P連副会長
ケイオファー温子

第64回中国・四国
地区高P連大会

愛媛大会

令和4年7月26日に愛媛県松山市で行われた第64回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会に出席してまいりました。

令和2年広島大会、令和3年の徳島大会がいずれもコロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、3年ぶりの開催となりました。

まだコロナの影響のある中、愛媛大会の参加人数や各イベントに不安もありましたが、各県より多くの方が参加され、県をまたいだPTA役員の方々との交流も深まりました。

私自身、令和元年鳥取大会を経験しており、運営側取りの大変さを認識しておりましたが、コロナ感染対策もすっかり行われた中での愛媛県高P連運営は、スムーズに実践され、コロナ禍で今後PTAが行う活動対応にも大変参考になりました。

催しでは元サッカー日本代表監督、岡田武史氏の記念講演がありました。8年前より今治市を拠点に、主体的な判断力を持つサッカーチームの創



造を実践されており、現在は地域の子供たちの教育活動にも同様の理念でチャレンジされているとのことでした。情報が増えフェイクニュースも多い中、自らしっかりと判断することが重要だとお話しされていたことが印象に残っています。

松山中央高等学校吹奏楽部の演奏では、久しぶりに生演奏の醍醐味を味わいました。練習を重ねた一体感のあるダンスを交えてのパフォーマンスは素晴らしかったです。

また、中国・四国地区の代表校3校のPTA会活動の発表では、コロナ禍での活動の難しさと、その中でも慎重に実践されているPTA活動の報告がありました。PTA活動が思うようにできない2年間は、PTAの意味を問われる機会でもあったとの言葉は身に迫る思いで拝聴しました。

愛媛県内の高校生による取組発表では、生徒自らが母校の魅力と地域の魅力を広く発信し、規模が縮小していく高等学校に多くの中学生を呼び込む取組を報告されました。内子

高等学校小田分校は、少人数学校だからこそその魅力をメディアやWEBを活用し全国から募り、長浜高等学校は国内初の高校内水族館を生徒自らが企画・運営・管理を行い、来館されるお客様に高校の魅力を伝えることを実践しています。この活動は高校のみならず地域の活性化へも貢献する、少子化対策として非常に参考になりました。また、その成果を生き生きと発表する姿を見て、あらためて精一杯、生徒たちを支援したいと思いました。

愛媛大会を通じて、「コロナ禍での活動制限を、生徒が勇気をもって歩み、保護者がしっかり支える」メッセージを受けました。令和4年のPTA活動は、あと半年もあります。鳥高P連も、互いの知恵や工夫を共有しつつ、しっかりと生徒たちをサポートすることを決心し、中国・四国地区高等学校PTA連合大会の報告とさせていただきます。
(文責)／高P連副会長 堀江 司

**令和4年度
PTA会長研修会**
ところ…鳥取市「白兔会館」

令和4年度PTA会長研修会が令和4年7月3日(日)、白兔会館で開催されました。

県内高等学校から20名のPTA会



長・副会長にお集まりいただきました。まず、徳吉会長からの「この研修会を今の時期に開催できたのは、年度が始まった早い時期に情報を得ることができるとい意味で意義のあることである。」

という挨拶があり、続いて、各会長から提出された事項について鳥取県教育委員会事務局参事監兼高等学校課長酒井信彦様から説明をいただきました。説明のために多くの資料をご用意くださり県教育委員会の取組がよくわかる、大変、興味深いものでした。

【PTA会長からの提出事項】

- ・ 自転車用ヘルメット着用推進に関する啓発活動
 - ・ 海外へ進学した場合の奨学金制度について
 - ・ 性同一性障害の生徒に対する学校の支援について
 - ・ 学校の老朽化に対する対策について
 - ・ マスク着用に関する方針について
 - ・ 成年年齢の引き下げにおける取組について
- その後、各地区に分かれ、酒井高等学校課長、福本高校教育企画室長、河口指導担当指導主事を囲んでの意見交換会を行いました。
- 【PTA会長から提出の意見交換事項】**
- ・ 県外進学者の県内就職に向けた取

組及び高卒就業者の離職率が高い業種における定着のための取り組みについて

- ・ 県立高校における部活動の在り方について
- ・ デジタル化する教育現場においての課題とその対策について

後半は、PTA会長のみの情報交換会を行い、事前に提出された情報交換事項以外にも熱心に意見が交わされ、研修会を終えました。

令和4年度各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月13日(日) 午前9時30分～11時40分
会場：鳥取県立倉吉未来中心
内容：講演会
演題 「何が変わる？何が危ない？～18歳の法律問題～」
講師 弁護士法人河本・森法律事務所
弁護士 森 祥平 氏
- 中部地区高等学校PTA研修会
令和4年度は、鳥取県高等学校PTA指導者研究大会が中部地区で開催されるため、県の研究大会を地区研修会に兼ねることとした。
- 西部地区高等学校PTA会長・校長合同研修会
期日：10月8日(土)
会場：米子市観光センター
内容：陶芸体験・情報交換

令和5年度各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA連合会総会
期日：6月
会場：中部地区
- 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会
期日：7月14日(金)
会場：倉敷市「倉敷市民会館」
- 全国高等学校PTA連合会大会宮城大会
期日：8月24日(木)、25日(金)
会場：仙台市「カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)」
- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月
会場：西部地区

■全国高P連会長表彰■

鳥取県から受賞された個人・団体は次のとおりです。PTA活動に尽力され、素晴らしい成果をあげておられることが、多くの方々より高く評価された結果と存じます。誠にありがとうございます。

◆個人表彰

- 安養寺 登 氏** (前智頭農林高会長)
- | | |
|--------|----|
| 県高P連監査 | 1年 |
| 単P会長 | 2年 |
- 松原 誠 氏** (前米子東高会長)
- | | |
|----------|----|
| 県高P連副会長 | 1年 |
| 地区高P協議会長 | 1年 |
| 単P会長 | 1年 |

◆団体表彰

- 倉吉農業高等学校PTA
- 米子南高等学校PTA

鳥取県高等学校PTA連合会会員学校 保護者の皆様へ
鳥取県高等学校PTA連合会推薦

中途加入できます！

ハイスクール24のご案内

(団体総合生活保険)

※本制度の対象は1年生のお子様です。

お子様の日常生活の危険を総合的に補償します

割引
44%
適用^(※1)

個人賠償責任
国内無制限
自転車条例
にも対応!!

24時間
365日
補償

新型コロナ
ウイルス
感染症^(※2)
にも対応!!

※1 団体割引20%、損害率による割引30%を適用。損害率による割引は、天災危険補償特約には適用されません。

※2 2022年1月現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されていますので、補償対象となります。

加入タイプと掛金 5タイプ

※割引適用後の保険料です。

加入タイプと補償項目	Wタイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Sタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額500万円)	全ての加入タイプに「国内：無制限、国外：1億円」を付帯しています！				
死亡・後遺障害	165万円	154万円	124万円	66万円	54万円
入院保険金(日額) ^(※1)	2,445円	2,150円	1,400円	800円	-
手術保険金	入院保険金日額の10倍(入院中の手術) または5倍(入院中以外の手術)				
通院保険金(日額)	1,100円	1,100円	700円	500円	-
・熱中症危険補償特約 ・細菌性食中毒等補償特約 ・天災危険補償特約 ・特定感染症危険補償特約	全ての加入タイプに付帯しています！ 新型コロナウイルス感染症にも対応				
被害事故補償	3,000万円	-	-	-	-
入院療養一時金	20万円	-	-	-	-
入院医療保険金(日額)	2,300円	-	-	-	-
手術医療保険金 ^(※2)	入院医療保険金日額の10倍 または5倍				
育英費用 (天災危険補償特約セット)	120万円	114万円	88万円	20万円	-
携行品(自己負担額5千円)	10万円	10万円	10万円	10万円	-
救護者費用等	100万円	100万円	100万円	100万円	-

年間掛金 ^(※3) (保険料+制度維持費)	10,960円	8,490円	6,600円	4,730円	2,320円
-------------------------------------	---------	--------	--------	--------	--------

保険期間(1年ごと自動更新) 2022年4月1日(午後4時)より2023年4月1日(午後4時)まで1年間

(※1) 手術保険金のお支払い額は、入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の程度や救急等お支払いの対象外の手術があります。
(※2) 手術医療保険金のお支払い額は、入院医療保険金日額の10倍(入院中の手術または放射線治療)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の程度、切開術(皮膚、粘膜)、後遺症お支払いの対象外の手術やお支払回数に制限がある手術があります。
(※3) 年別掛金は30歳未満の児童に引き上げさせていただきます。

◆左記の表に記載している掛金は、1年間分の金額です。中途加入の掛金はお問い合わせください。

◆保険の責任開始は、加入手続きで指定された始期日以降となります。

◆本制度の対象は1年生のお子様です。2・3年生は旧制度となりますので詳細はお問い合わせ先までご連絡ください。

◆詳しい補償内容につきましては、Web加入画面をご覧ください。Web加入画面をご覧いただくか、下記取扱代理店までお問い合わせください。

<お申し込み方法>

Web加入をご利用いただけます。右記QRコードを読み込み、サイトにアクセス後加入手続きを進めてください。



制度に関するお問い合わせ先(東京海上日動火災保険株式会社 取扱代理店)

(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 鳥取支社(受付時間 月～金 AM9:00～PM6:00)
住所:鳥取市南隈541トリニティーモールBゾーン1F TEL:0857-32-8825

この保険は、鳥取県高等学校PTA連合会を契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として契約者が有します。こちらは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。お問い合わせ先までご連絡ください。

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

令和4年8月作成 22-TC03924